

# 医療・健康

なぜ小平市は前立腺がん検診の補助ができないのか

佐野郁夫議員(政和) ①前立腺がん検診を自己負担なしで行う場合の予算は。

②前立腺がんや前立腺肥大などの早期発見、早期治療のために市ができること、やるべきこととは。

市長 ①近隣市の実施例などを参考に試算すると、1千2百万円ほどになる。

②病気に関する正しい知識を持つてもらい、早期発見、早期治療につながるようホームページ等で情報提供に努めたい。

いのちを守るがん対策を強化し、より積極的に進めてほしい

津本裕子議員(公明) ①子宮頸がんワクチン公費助成に対する今後の取り組みは。

②好評のマンモグラフィ検診車をどう活用するか。

③周知方法等の改善点は。

▶マンモグラフィ検診車(健康センター)



市長 ①検診との併用でほぼ100%予防可能なこと、都の補助対象となったこと、要望があることなどを踏まえ検討したい。

②本年度も引き続き活用する予定である。

③本年度から携帯電話でも申し込めるようにした。またリーフレットを作成し検診申込書と一緒に個別通知する予定である。

再び、小児用肺炎球菌ワクチンへの公費助成で子どもの命を守る

再び、小児用肺炎球菌ワクチンへの公費助成で子どもの命を守る

市長 ①平成21年度は、ヒブワクチンが延べ1千8百17人、肺炎球菌ワクチンは3千百89人が

接種済みである。

②実施に当たっては相当の費用が必要と見込まれるため、そのほかのワクチンとの優先度や財源の問題等を含め検討していきたい。

妊婦健康診査受診票のさらなる改善を

石毛航太郎議員(フオ) ①妊婦健康診査受診票に検査項目が記載されている理由は。

②市独自の受診票を作ること

は可能か。

市長 ①健診の円滑実施のため、受診票を委託料の請求原票と区市町村への結果通知票を兼ねた様式にしたためである。

②健診は都内全域の医療機関で受診できる制度として実施されており、受診票も様式を統一化し共同印刷で作成しているため、市独自の受診票の導入は難しい。

# 教育・文化

市所有芸術作品の活用、管理について問う

滝口幸一議員(フオ) ①芸術作品を教育に活用することについて

の考えは。

②芸術作品の管理体制は。

教育長 ①学習指導要領に多様な鑑賞体験の場を設定することが明記されており、今後も地域の施設や文化財等の活用を通して

情操を養っていききたい。

市立学校運営をめぐる若干の課題について

宮寺賢一議員(政和) ①全国学力調査をどう評価するか。

②学校週6日制に戻すべきと考えるがどうか。

③教員の男女比率の極端な偏りに対する考えは。

教育長 ①授業改善にもつながり、児童・生徒一人一人の学力を伸ばすためにも参考になる。

②学校週5日制の趣旨を生かし、家庭や地域社会による教育と連携して学力の伸長、健全育成、体力の向上に努めることが重要と

考えており、6日制に戻すべきとは考えていない。

③学校運営上望ましいことではないと認識している。

月2日を限度に認められた土曜授業を小平市は実施しないのか

佐野郁夫議員(政和) ①土曜授業を取り入れる学校と取り入れない学校で

格差ができること

等が懸念されるがどうか。

②今後の方針は。

教育長 ①取り入れない学校

も、週の時程の中での授業時間の増や行事等の精選により授業時間を確保しており、本年度土曜授業実施の有無による授業時数の顕著な格差はない。

②週5日制の定着に伴い充実してきている子どもたちの地域での諸活動もあるため、導入効果や児童・生徒の負担、開かれた学校づくりなどを考慮しながら検討したい。

小・中学校が連携して子どもを育てていく

岩本博子議員(生ネ) ①中学校不登校に対する小・中連携は。

②小・中連携の必要性に対する認識と今後の進め方は。

教育長 ①年度末に小学校6年生担任と中学校教員とで情報交換を

している。また、生活指導主任会や中学校区ごとの小・中連携協議会でも教員が情報交換等を行

っている。

②子どもたちの健やかな成長のため重要な課題の一つである

ととらえている。本年度は中学校区の一つに先行研究を依頼し

ており、研究成果を生かし構想をまとめ、段階を追って全中学校区へ

広がっていききたい。

花小金井南中学校の地域開放型体育館は本当に建設されるのか

鳥村速雄議員(政和) ①構想の中で利用者の想定は。

②体育館建設は開発事業と関連性が強い

ため、今後も進捗状況を注視し慎重に検討したい。

小学校給食の充実を

木村まゆみ議員(共産) ①正規栄養士の退職不補充、嘱託栄養士の3年雇いどめの認識は。

②調理部門を委託した場合、栄養士と調理員の連携作業を不可能にする

と思うが認識は。

市長 ①正規栄養士が退職の際には都の1人2校の配置基準に準ずる中、市では1人1校体制維持のため嘱託職員を採用している。嘱託職員制度は多くの人に

市行政に参加の機会を提供するため再任は2回までとしている。

教育長 ②栄養士が直接、業務受託した事業者の調理員に指揮監督することは法令に抵触する

おそれがあるが、他の自治体において支障なく合法的に委託実施されていると認識している。

安全でおいしい学校給食の継続を

岩本博子議員(生ネ) ①小学校給食のあり方についての

想をまとめ、今後の方向性を出す

過程における市民参加は。

②安全な食材を調達する仕組みと栄養士の役割は。

教育長 ①基本方針案がまとまった後、市民意見を公募して方針を決定したい。

②国の基準に照らした衛生管理と小平市立小学校給食物資規格基準書等に基づく食材調達に

より安全を確保している。栄養士は食材の安全や栄養に配慮し、特色のある献立となるよう努めている。

東京街道の雨水工事と交通安全について

川里春治議員(政和) ①東京街道の小金井街道より東側の雨水工事の予定は。

②野中東通りと東京街道との交差点の工事予定と安全対策は。

市長 ①平成21年度から2か年の予定で工事を実施しており、さらに、西東京市境までの整備を来年度以降に実施していく予定である。

②本年6月中旬から工事を予定している。工事期間は交通への影響を考慮し、騒音や安全面には十分配慮してできるだけ早い工事完了を目指したい。

私道整備の補助は状況に応じた対応を

山岸真知子議員(公明) ①9割補助に対する市民の要望は。

②公共施設周辺の私道の整備等は補助割合を検討すべき。

市長 ①近隣他市の補助状況は。

②市は9割の補助を行っている。今後の内容で継続していきたい。

市道の整備

宮崎照夫議員(政和) ①一般的な整備基準はあるのか。

②六中の北通りの道路維持補

修計画は。

③六中南側と西側の砂利道は早急な改善を望むが、見解は。

市長 ①アスファルト舗装は一般に交通量などの外的作用や掘削工事により路面が切断され悪化する

場合などがあり、画一的な基準になじまないことから、整備基準は定めていない。

②本年度の公共雨水管整備工事等が完了後、来年度以降に道路整備工事を行う予定である。

③道路整備の計画はないので、維持補修を主体に管理したい。

道路、公園等の除草はもっとタイムリーにできないか

宮寺賢一議員(政和) ①年間の除草回数と除草時期は。

②除草のタイミングは誰がどのように決め、指示しているか。

市長 ①昨年度の道路の除草は状況に応じて4月下旬から12月までに1回から4回、公園については

日常の清掃業務委託の中で実施し、特に除草範囲の広い中央公園や四季の小路等は別の植生管理業務委託の中で、7月から8月と9月から10月の2回実施した。

②担当が業務委託仕様書に繁茂期等を考慮して除草時期を明示し、委託の範囲外で要望等があった場合は建設事業所が迅速に除草を行っている。

道路わきの雑草



道路わきの雑草